



みんなのけんこうガイド

★本庄市保健センター ☎ 2003

※お問い合わせは、午前8時30分からです。

●育児相談・学級 【会場】本庄市保健センター

相談・学級	内容	日時	申込
すくすく相談	身長・体重の計測、育児・栄養相談	9月18日(休)・10月30日(休) 午前9時30分～11時(15分ごとに3組) ※9月18日(休)は、児玉保健センターで実施。	定員あり 各実施月の1日から本庄市保健センターへ (※電話による育児相談は随時受け付けています。)
母乳相談	母乳に関する相談	10月30日(休) 午前9時30分～11時(15分ごと)	
おや親タマゴ「はじめて生活withベビー」	妊娠中の生活、お風呂の入れ方の実習など	10月18日(土) 午前9時30分～正午	定員あり(随時受付)

少しの勇気で救える命があります～AED～

AEDとは

AED(自動体外式除細動器)は、心室細動などの不整脈に対し、心臓に電気ショックを与えて正常な状態に戻す医療機器です。

電源を入れると音声で操作方法を案内してくれるので、どなたでも簡単に使えます。

AEDを使えば生存率アップ!

救急車が現場到着するまで平均で約8分といわれ、心停止した場合、一刻も早く電氣的除細動を施行することが必要とされています。救急車の到着以前にAEDを使用した場合、救急隊員や医師が駆けつけてからAEDを使用するよりも救命率が数倍も高いことが明らかになっています。

身近な場所へ設置しています

市では、公共施設にAEDを配置しています。また、店舗などの配置も増えています。

使用可能時間は施設の開館時間などにより、制限がありますので、ご了承ください。

ほんの少しの勇気と、AEDに関する知識を持ちましょう

救急のためには、誰でもその場に居合わせた人が、あわてずにAEDを使用できることや心臓マッサージ(胸骨圧迫)及び人工呼吸を継続して行うことが非常に重要です。

*お問い合わせは本庄市保健センターへ



AED設置のマーク

救急フェアを開催

毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む1週間を「救急医療週間」と定めて救急業務の普及啓発運動を全国的に実施しています。

児玉郡市広域消防本部では、「救急の日」及び「救急医療週間」に伴い応急手当を普及するため、多数の人が出入りする場所を利用して、下記のとおり救急フェアを開催します。

ぜひこの機会に、「大切なひと」の命を救うための正しい応急手当を覚えましょう。

日時 9月9日(火) 午前10時～午後3時 **会場** ウニクス上里

内容 AED、心肺蘇生法の実技指導(ベビー・ジュニア・成人)、止血法、血圧の測定、119番通報訓練装置による通報訓練指導、風船の配布、ミニはしご車の展示など

★児玉郡市広域消防本部警防課 ☎ 4654

この病気は、眼の中でカメラに例えるとフィルムにあたる網膜という膜に異常が生じる進行性の遺伝性疾患です。網膜は角膜、水晶体、硝子体を通過してきた光を網膜内の神経細胞によって電気信号に変換する役目があります。この信号が視神経を伝わり、大脳へ連絡されて光として認識できるしくみとなっています。

網膜色素変性症は、この網膜の中の視細胞が最初に障害を受けます。この視細胞は2つの種類が存在します。1つは暗い場所で物の見え方や視野の程度に影響を与える桿体細胞かんたいです。もう1つは主に中心視力や色覚に影響する錐体細胞です。この病気では、桿体細胞が障害を受けるケースが多く、夜間見づらい夜盲症、全体の視野が狭くなる症状を訴えて来院するケースが多く見られます。

この病気の頻度は約500人に1人といわれています。遺伝性疾患ですが、明らかな遺伝傾向が認められるケースは、約半数の50%で残りは遺伝形式の無い孤発例となります。遺伝形式上最も多いのが常染色体劣性遺伝で35%、次に常染色体優性遺伝で10%、残りがX染色体劣性遺伝です。原因は、視細胞です。視細胞に隣接する網膜色素上皮細胞に特異的に作用する遺伝子の異常によるとされています。主な遺伝子としては、EYS、桿体cGMP-フォスフォジエステラーゼ $\alpha\beta$ サブユニット、RPE65、アレスチン、ロドプシン、ペリフェリンなどがあり、今後さらに原因遺伝子が発見されようとしています。こうした遺伝子の変化に応じて個々のカウンセリングや治療に役立てられています。この病気の根本治療は現在までのところ存在しません。対症療法として遮光眼鏡の装用、ビタミン類の内服、循環改善薬の服用、各種補助器具の使用などがあり、米国の研究班ではビタミンAが進行を抑制したとの報告があります。また、高度な視力低下でも拡大読書機などによる文字の読み書きや、音声ソフトによるインターネットやメールの使用が可能となっています。

また、将来期待される治療として遺伝子治療、iPS細胞による網膜色素上皮移植、人工網膜装着などがあります。これらの治療方法はいまだに治験段階ではありますが、徐々に治療成績は向上しています。この疾患の進行度、重症度には個人差があります。70歳でも1.0のケースもあり、定期的な通院による専門医のチェックが重要です。

休日急患の診療

●本庄市児玉郡医師会立本庄市休日急患診療所（日曜・祝日開設） （本庄市保健センター内 ☎ 3322）

診療時間 午前9時～正午、午後1時～4時、午後7時～10時

診療科目 内科系疾患

※健康保険証を持参してください。

●在宅当番医療機関

診療は午前中のみです。当番医は変更になる場合もありますので、確認してからお出かけください。

9月7日(日)	高橋外科整形外科	千代田1丁目	☎ 26211
9月14日(日)	昭和産婦人科	駅南1丁目	☎ 22025
9月15日(祝)	高山整形外科	見福2丁目	☎ 3245
9月21日(日)	田所医院	けや木1丁目	☎ 3445
9月23日(祝)	辻クリニック	上里町七本木	☎ 51116
9月28日(日)	寺坂医院	西富田	☎ 3343

ご利用ください！小児救急電話相談「#8000」

休日や夜間の子どもの急病時にご利用ください。県内であれば、プッシュ回線の電話や携帯電話から「#8000」を押すとつながります。

（相談料無料・通話料利用者負担）

受付時間

- ・月曜日～土曜日 午後7時～翌日午前7時
- ・日曜日、休日、年末年始 午前9時～翌日午前7時

★119番は、緊急時（火災やけが人など）の受付専用電話番号です。夜間など、時間外に診療可能な病院については、児玉郡市広域消防本部指令課（☎ 1119）でご案内していますので、ご利用ください。ただし、診療科目によっては、県外や児玉郡市以外の病院をご案内する場合があります。